

## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	天龍村
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	森林景観整備事業
事業費 704,000 円 (うち支援金 : 650,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

本村は、全体面積の約 93%を森林が占めています。また、起伏の多い急峻な地形と河川が山裾に沿って延びる特異な地形を有しています。

林業経営者の多くが高齢化・後継者不足による担い手不足が発生しています。森林整備への関心・意欲低下により森林整備が進まず、人が立ち入らない整備困難な森林があることも起因して、樹木への獣害被害も発生しています。また、森林が持つ多面的機能が多くの森林で発揮されていないことが課題となっています。

#### (2) 本事業の目的

本村の道路沿線は未整備の間伐地帯が多く残っており、森林機能を果たせていない状況にあります。加えて景観も悪く、村民にとって身近な環境にある森林が整備されていないことから、山林所有者の森林整備に対する意識も低くなっているのが現状です。そこで住民にとって身近な道路沿線の景観上支障となっている針葉樹を中心とした森林の間伐を実施することで、森林の景観整備と資質向上を図り、村民の森林整備に対する理解を得ることを目的とします。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ・天龍村内の道路沿線

(2) 対象者 ・特に村民からの要望が多い箇所

(3) 実施方法 ・景観向上、道路の安全通行確保も目的とするため、強度の抜き切り  
(部分的に 50%以上) を実施した。

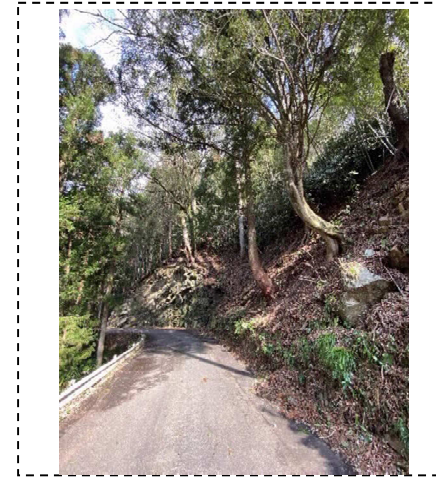
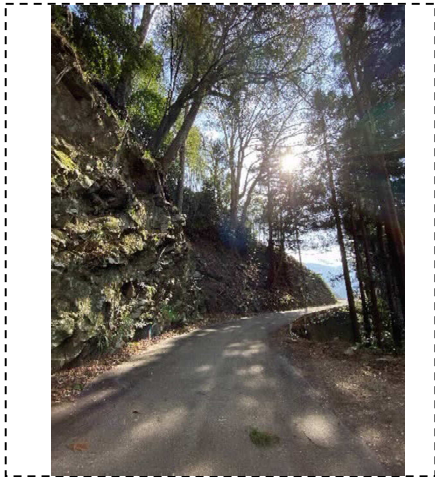
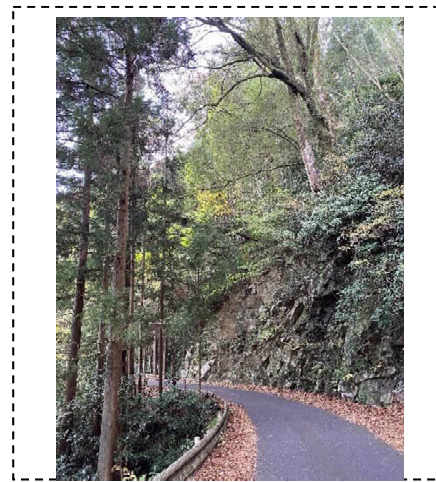
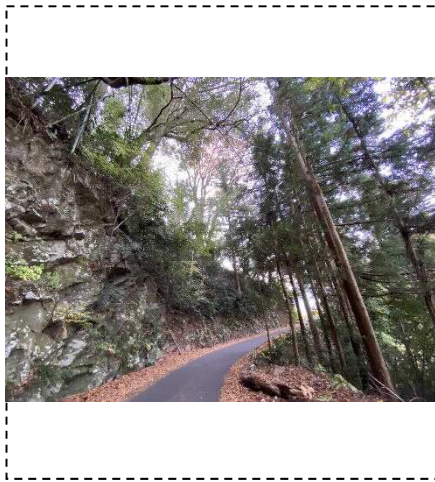
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

・天龍村内の道路沿線 5.0ha

②令和 3 年度実績

・天龍村内の道路沿線 0.2ha



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

- ・公共施設周辺の森林景観整備により、森林環境と施設環境が向上した。
- ・村民をはじめ、広く一般に対し森林整備に対する理解と協力が得られた。

### (2) 継続性

- ・村民からの要望も多いため、継続して実施していく。
- ・整備後は、森林所有者及び要望した地域住民が維持管理を行うため、事業効果も継続する。

### (3) 普及性

- ・村民の身近な森林が整備されることにより、山林所有者の森林施業に対する意識改革が図られ、道路沿線のみでなく、村全体の森林整備が進む。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

- ・特に村民から要望が多い箇所の景観森林整備を行うことが出来た。特に景観上支障となっていた広葉樹について強度の抜き切を行ったことで、道路の安全通行も確保できた。

### (2) 課題

- ・他地区からの要望も多いため、優先順位や森林整備方針等の検討が必要です。

### (3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・村民から要望のある箇所について、毎年度1ha程度の予定で森林景観整備を行っていく。

## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	天龍村
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	皮剥被害防止事業
事業費 229,900 円 (うち支援金: 195,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

本村は、全体面積の約 93%を森林が占めています。また、起伏の多い急峻な地形と河川が山裾に沿って延びる特異な地形を有しています。

林業経営者の多くが高齢化・後継者不足による担い手不足が発生しています。森林整備への関心・意欲低下により森林整備が進まず、人が立ち入らない整備困難な森林があることも起因して、樹木への獣害被害も発生しています。また、森林が持つ多面的機能が多くの森林で発揮されていないことが課題となっています。

#### (2) 本事業の目的

近年、ツキノワグマによる皮剥被害や野ウサギによる食害が増加しており、山林所有者の経営意欲が低下しつつあるので、その解消のため、皮剥被害防止効果のある防除テープ等を購入し、希望者に配布し被害防止に努めます。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 ・天龍村内の山林全域

(2) 対象者 ・熊の皮剥による被害ある希望者

(3) 実施方法 ・防除テープ (ウィリー) 100 枚  
・ウッドガード (ハーフタイプ) 200 セット  
を村で購入し希望者へ配布した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

・毎年度実施予定 (被害状況を見ながら配布数調整する)

②令和 3 年度実績

・上記の実施方法のとおり



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

事業実施により次の効果がみられた。

- ・熊の皮剥被害や野ウサギの食害が減少
- ・森林の健全な育成
- ・山林所有者の経営意欲の向上

### (2) 継続性

- ・山林所有者から毎年配布希望もあるため、継続して実施していく。
- ・防除テープ等を施工いただいた箇所は、定期的に森林所有者による巡視が行われることから、事業効果も継続する。

### (3) 普及性

- ・本村全体で被害が減少することで、森林経営意欲が低下している山林所有者の森林施業に対する意識改革が図られ、村全体の森林整備が進む。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

- ・希望者への配布が2月であり、本年度設置した効果の検証が出来ていないが、以前に同事業で設置した山林所有者からは一定の効果があったと意見をいただいている。

### (2) 課題

- ・まだ多くの被害森林が残っているため、広報などでより一層周知を行い配布希望者を増やして被害防止対策森林の増加を図らなければならない。

### (3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・引き続き希望者に対して防止資材を配布し、皮剥被害を防止していく。